11 コンデンサご使用上の注意

下記に代表的なものを記載しますが、詳細は各機器の取扱説明書をよく読んでその指示に従って下さい。

運搬・据付

・コンデンサの運搬時には碍子を絶対に持たないで下さい。
・コンデンサの設置場所は風通しの良い所、腐食性ガスや振動のない所を選んで下さい。
・周囲温度は各機器に規定されている範囲内で、周囲の併設機器から熱の影響を受けにくい場所をお選び下さい。
なお、変圧器や直列リアクトルのような発熱機器と併設される場合は、その発熱の影響を避けるため150mm以上の間隔をとって下さい。また、発熱機器の真上にコンデンサを設置しないで下さい。
・コンデンサを2台以上並べてご使用になる場合は、隣り合うコンデンサとの器壁間隔は規定値以上として下さい。

結　線

・コンデンサの接続用電線は可とうな導体を使用するものとし、ブスバーによる直接接続は行わないようにして下さい。
・締付トルクはコンデンサ本体に表示しておりますので、明記されているトルクで締付をお願い致します。
必要以上の締付は油漏れの原因になることがあります。
・接地端子による設置工事を必ず実施して下さい。

運　転

・充電部に接近しないで下さい。また、触れないで下さい。
・適切な保護装置を設けて下さい。

更新推奨時期

コンデンサ及び直列リアクトル、放電コイルなどの付属機器は、(社)日本電気工業会「汎用高圧機器(及び低圧機器)の更新推奨時期に関する調査」という報告書において更新推奨時期を以下のように定めています。

高圧進相コンデンサ及び付属機器：使用開始後15年
低圧進相コンデンサ：使用開始後10年
(これらの値は保証値ではありません)

予防保全の見地からも、上記期間を目途に更新を推奨致します。

注意！特に昭和50年以前の低圧進相コンデンサは保安装置が内蔵されていないため、万一の内部故障時には二次災害(発煙･発火)が発生するおそれがあります。防災の上でも早急にお取替えをお願い致します。

横倒し禁止

・コンデンサやリアクトルは、一部の商品を除き、運搬・据付時の横倒しを禁止しておりますのでご注意下さい。
・横倒し禁止除外対象品
低圧進相コンデンサ設備　N2形(32頁、33頁)
E形(34頁、35頁の図3)

機器の離隔距離

コンデンサ同士、及びコンデンサ～リアクトル間の離隔距離は原則以下の値以上として下さい。

コンデンサ～コンデンサ間
①油入　160kvar未満 …………50mm以上
160～319kvar ………80mm以上
426～532kvar ……100mm以上
②ガス式　53.2kvar以下 …………50mm以上
79.8～106kvar………80mm以上
160kvar以上 ………100mm以上
コンデンサ～リアクトル間…………200mm以上

尚、絶縁・放熱・メンテナンスの判断より上記寸法を小さくできる場合はこの限りではありません。

使用絶縁油

①高圧コンデンサ　JIS C 2320　5種2号、第四類第三石油類
②高圧リアクトル　JIS C 2320　1種2号、第四類第三石油類